

## 2021年度 第4回奈良ESD連続セミナー 概要報告

奈良教育大学 中澤 静男

◇開催日時 2021年7月29日(木) 19時～21時30分

◇方法 ZOOMを用いたオンライン研修

◇参加者数 46名

(大学生・ESD連続セミナー受講現職教員、ESDサポーター受講者等)

◇内容 ESD学習指導計画の分析

1. 「つなごう 吉野・大牟田の宝」6年生・総合：大牟田市立吉野小学校・島俊彦氏

吉野の町を盛り上げよう

テーマ：地域の一員として関わるよさに気づき、能動的にまちづくりに他者と協働して参画する

子どもの育成（目指す子ども像）

商店街の再生に向けて努力する人々との協働

(1) 自分たちが思っている吉野のよさ（既習事項の振り返り）

住みやすさ、自然の豊かさ、地域の方々との協力（つながり）、地域の方々のやさしさ（あいさつ）

でも、保護者アンケートを見ると、自分たちが思っている吉野のよさとはちよつとずれがあることに気づいた。→ちゃんと、吉野のことを知ることから始める必要がある。

(2) 商店街のお店がつぶれていっている（現状把握）

商店マップに記載されているお店にも、閉店してしまっているところが多い。→なんとかしたい！

(3) これからの学習の見通し

・吉野のよさを広げていきたい

現地調査をしてお店の人の願いや地域住民の思いなどを聞き取り

FWやインタビュー調査を通じて、商店街の問題の自分事化を図る

・商店街を活気づけるために、自分たちにできることを考える

商品開発（弁当）、ポスター制作、動画制作 → 発信

(4) 本学習指導計画を踏まえた意見交換・考察

①本学習の意義

商店街の衰退は、全国的な課題であり、課題解決には至らないであろう。

指導者としては他市町村の情報を調べておく必要があるだろう。

地元を知る事自体に意味があるのではないか。地域の活性化に子どもが関わることには、「子どもが地域のつながりをつくる存在」になりうるという期待がある。

俯瞰的な視点も必要であるため、行政プラン（総合計画等）を参考にし、最終的に市長に提案する（上からの行動化）を促す方法もある。

子ども目線による課題解決策「プロの素人」の意見を促すことは、地元への関心を高める

②本学習の成立に関わって

商店街の方々との目的の共有が大切。学校・子どもの一方的な思い込みはよくない。

地域の人による地域の活性化を促すことが基本

地域の人たちの商店街の活性化への協力を促すために、お店のストーリーを見つけ、発信

そこに店を出した経緯、これまでの苦労や喜びなど、お店側のストーリー

お店との関わりで忘れられない思いでなど、消費者側のストーリー

それらのストーリーが関心を高める起爆剤となる。お店と地域の方々とのコミュニケーションによって、居心地のいい空間になっていく。そのことが、地域の人による地域の活性化につながる。商店街のイベントに参加することも、地産地消の1つの形であることをおさえる。

### ③評価について

ESD の場合、行動が変わることがポイントになる。テーマに関わる子どもの変容を具体的に、多様に想像する必要がある。

## 2. 単元：6年生外国語科 Unit5 「We all live on the earth.」(全10時間)：教職大学院・藤原愛子氏 外国語活動における ESD の単元づくり

目標：食物連鎖について調べた情報を整理し、相手との対話を通して自分の考えを深め、発表することができる。また、地球の現状を批判的に捉え、地球に住む生き物が置かれている状況についても情報を収集し、抱えている問題を解決しようとする態度を養う。加えて、食べる食べられるの関係や生き物が住んでいる場所等、基本的な語句や基本的な表現を理解する。

(1) 主発問と補助発問を軸として、児童の予想される反応からストーリーを組み立てる

「見つめる」身近な生き物についての問題点を出し合う 地球環境・生態系への関心を高める

①主発問(単元を貫く発問)：「わたしたちは、自然とどのように関わっているのだろう」

「調べる」食物連鎖が崩れてしまう要因は？そこから気づく、自分の生活との関わり

We all live on the earth.

「深める」

②補助発問(新たな知識や既存の取り組みへと広げる発問)：

「人間もその他の生き物も、安心して暮らすためには、どうすればいいのだろう」

・企業の取組を調べる × 消費者の取組を調べる

③補助発問(自分の考えを再構築し、行動につなげる発問)：

「広げる」

「動物や自然を守るためには、わたしたちにどんなことができるだろう」

・学校や学級でできそうなこと

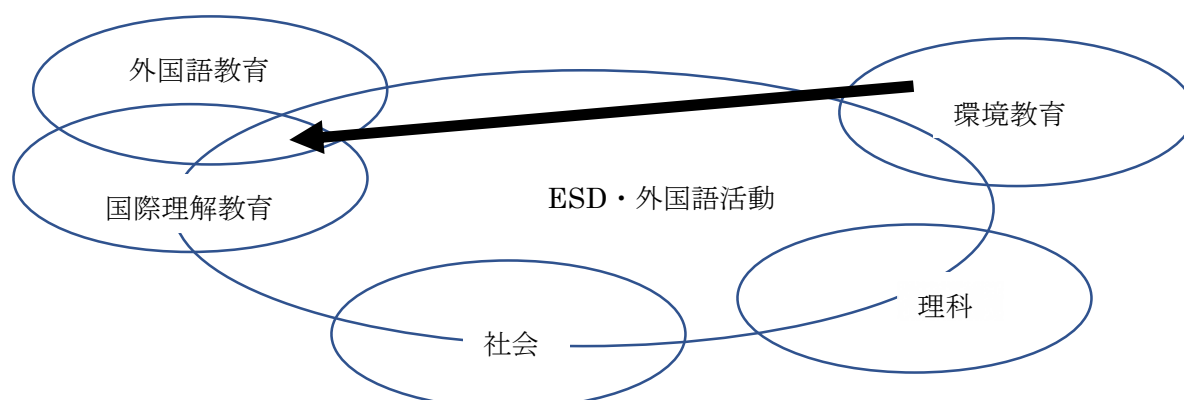
・個人でできそうなこと

(2) 評価について→ 【パフォーマンス課題で活用するルーブリック】参照

(3) 本学習指導計画を踏まえた意見交換・考察

・学習内容が多岐にわたっているという印象。理科の食物連鎖のヒエラルキーから問題点を生物多様性の保全にしばって展開していくのもいいのではないか。(すべての生き物がつながり、生態系を保全する役割をもっている)生物多様性を意識した消費行動。

・英語で学習するよさを子どもに感じさせるにはどうすればいいのか？



※「英語なら海外の友達と一緒に取り組めるよ!」という形になればいいが。(藤原先生のこれまでの JICA 等での人間関係を生かして)

・「言葉」は文化を反映している

環境に関わる英語表現での名言・言い伝えは生き物に対する文化的相違点や共通点を含んでいる。

【パフォーマンス課題で活用するルーブリック】

得点	言語的コミュニケーションの視点	非言語的コミュニケーション	プレゼンテーション全体の内容	視覚物とメンバーとの連携	外国語の運用能力
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な声の大きさ</li> <li>話のスピード</li> <li>聞き取りやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイコンタクトができている</li> <li>ジェスチャーを加えている</li> <li>表情豊かで表現力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の論点が明確で、分かりやすく表現されている</li> <li>学びの深さが感じられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手を意識した視覚物</li> <li>他のメンバーとの息の合った姿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した表現、及び関連する語句について十分に理解している</li> <li>食物連鎖や自分の考えなどを話す技能を十分に身に付けている</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ねできているが、一部聞き取りにくいところがある</li> <li>概ねできているが、一部分かりにくいところがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイコンタクトが概ねできているが、完璧ではない</li> <li>ジェスチャーが概ねできているが、完璧ではない</li> <li>表情が概ねできているが、完璧ではない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>概ね話の論点が明確だが、一部分かりにくさがある</li> <li>学びの深さが感じられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚物に一部分かりにくいところがある</li> <li>他のメンバーとの息の合った姿</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した表現、及び関連する語句についてある程度理解している</li> <li>食物連鎖や自分の考えなどを話す技能をある程度身に付けている</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>声が小さい</li> <li>話すスピードが速すぎる</li> <li>話すスピードが遅すぎる</li> <li>はっきりと話していない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイコンタクトが一部適切に使えていない</li> <li>ジェスチャーが一部適切に使えていない</li> <li>表情が一部適切には使えていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の論点が明確だが、一部分かりにくさがある。</li> <li>新情報に乏しく、学びの深さがあまり感じられない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚物に一部分かりにくいところがある</li> <li>他のメンバーとの連携があまりできていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した表現、及び関連する語句についてあまり理解していない</li> <li>食物連鎖や自分の考えなどを話す技能をあまり身に付けていない</li> </ul>
0	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションが成立していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイコンタクト、ジェスチャー、表現、すべて使えていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションの内容が伝わっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視覚物が不適切または不十分</li> <li>メンバーと意思疎通ができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識、技能を身に付けていない</li> </ul>

コミュニケーションを行う力

方略的能力

・批判的に考える力  
 ・多面的、総合的に考える力  
 ・進んで参加する態度

他者と協力する態度